

# 第25号 すいかずら

JAPAN ASSOCIATION FOR  
HISTORICAL ART  
AND ARCHITECTURE  
(CONSERVATION OF CULTURAL ARTIFACTS)

平成28年3月発行  
編集：社寺建造物美術協議会  
発行人：荒木かおり  
〒616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2  
(術川面美術研究所内)  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099  
<http://shabikyo.com/> (HPアドレス変更しました)

## 「資格制度」・「三部会研修」がスタートしました。

社寺建造物美術協議会では、長年の懸案事項であった資格制度の導入にむけ制度構築をすすめました。若い技能者が将来への希望をもって、技術の研鑽に取り組んでいただきたいことが一番の目的です。今般、技能者の地位向上そして技能の客観的評価を定めていくことが求められています。

資格取得のためには、日常の業務の経験はもとより、当協議会での研修の参加もポイントとして加算されますので、研修への積極的な参加を促していきたいと思っております。

それと併行して今年度からの研修は「漆」、「丹塗・彩色」、「金具」の三部会制を導入し、各部会のニーズに沿った内容を検討するため、それぞれの部会に部会長と技術長を任命し、各部会が必要としている研修内容、予算、日程などをディスカッションし、研修をスタートさせました。

また、三部会の研修に加え技能者として、基礎知識の向上及び柔軟な発想力と応用力を培うため、基礎教養講座である共通座学研修もスタートさせました。

### 〈三部会研修会〉

#### 漆



漆塗装研修会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
箱定盤（漆職人が自分の道具を入れる伝統的な箱）の漆塗装実技

#### 丹塗・彩色



丹塗・彩色研修Ⅰ・Ⅱ  
原寸大建築部材支輪、垂木丹塗・彩色

#### 金具



金具研修  
垂木先・鑄造金具二種類作成

## ● 平成27年度 年間事業報告 ●

平成27年	活動 (●は国庫補助事業)	場 所
5月16日	第1回 通常総会	東京 品川カンファレンスセンター
6月12日	京都府文化財所有者等連絡協議会総会 出席	京都 京都ガーデンパレス
7月7日	文化財修理技術保存連盟 編集会議 出席	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
7月8日	●第1回 共通座学研修会	同上
7月9日～10日	●固有技術向上研修会 (漆塗装研修会 第Ⅰ期)	同上
7月29日	第1回 理事会	京都 京都タワーホテル
9月1日	●第2回 共通座学研修会	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
9月2日～4日	●固有技術向上研修会 (丹塗・彩色研修会 第Ⅰ期)	同上
9月2日	●建造物装飾修理用資材検討調査研修会 (彩色部会)	京都 ナカガワ胡粉絵具(株)
9月12日～13日	文化庁日本の技体験フェア 「ふれてみよう!文化財を守り続けてきた匠の技」 展示・実演	島根 出雲市 大社文化プレイスうらら館
9月12日	全国文化財保存技術連合会 会議 出席	同上
9月25日	文化財修理技術保存連盟 編集会議 出席	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
10月1日～3日	●固有技術向上研修会 (金具研修会)	京都 (株)森本銑金具製作所 大阪 (株)大谷相模掾製造所
10月14日～15日	●固有技術向上研修会 (漆塗装研修会 第Ⅱ期)	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター 仁和寺
10月17日～18日	●会員研修会	三重 伊勢市 伊勢神宮他
10月17日	会員連絡会議	三重 伊勢市 千の杜
11月24日	●第3回 共通座学研修会	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
11月25日～27日	●固有技術向上研修会 (丹塗・彩色研修会 第Ⅱ期)	同上
11月27日	京都府文化財所有者等連絡協議会 (研修会) 出席	京都 ルビノ京都堀川
12月2日～3日	●固有技術向上研修会 (漆塗装研修会 第Ⅲ期)	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
12月3日	●建造物装飾修理用資材検討調査研修会 (漆部会)	京都 (株)堤浅吉漆店
12月9日	第2回 理事会	京都 京阪ホテル
12月23日	文化財修理技術保存連盟 編集総括会議 出席	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター

# 会長より

平素は社寺建造物美術協議会の活動にご支援、ご協力賜わりましてありがとうございます。

今年度の大きなトピックスは、資格制度、三部会制度、共通座学研修の導入です。

資格制度に關しましては長年の検討課題でようやく実現することができました。資格制度の目的は、技能者たちの地位の向上と技能の客観的評価を位置づけることです。資格を得るためには、日常の技術練磨はもとより、当協議会内での研修や、座学講習の受講により、より高い教養を身につけて文化財修理技術者として、プライドを持って仕事に取り組んでいただきたいという願いを込めております。

本年度よりスタートいたしますが、今後も修正を加えながらより精度の高いものにしていきたいと考えております。

今年度の研修の参加者は「漆」「丹塗・彩色」「金具」の三部会研修及び座学研修も含め、延べ人数185人となりました。

共通座学研修では、文化財修理の考え方、建築史、修理史の講義を受け、テストにも挑戦していただきました。

実技研修では部会ごとの実践的な実技研修を行いました。このように若い研修生たちの積極的な取り組みを大変頼もしく、うれしく思っております。研修を通して、研修生同士の交流が深まっていったことも成果の一つに挙げたいと思います。

資格制度など、まだまだ未熟な部分がございますが、今後もより一層充実した形になっていきますよう努力する所存でございます。28年度も宜しくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

荒木かおり

## 総会等報告

通常総会（平成27年5月16日）

於 品川カンファレンスセンター

内容 ・平成26年度事業報告及び決算報告

・平成27年度新体制と役割について

・事業計画及び予算承認他

会員連絡会議（平成27年10月17日）

於 千の杜（三重県伊勢市）

内容 ・来年度事業計画について

・資格制度の説明と検討他

## 平成28年度社寺建造物装飾技術者事業計画（国庫補助事業）

### 1. 建造物装飾修理用資材研修会＜対象：中級・上級技術者＞

漆や膠、地金などの建造物装飾の修理に欠かせない材料についての研究・調査や、講師を招いてその現状、問題を検討し改善策をたて、今後の修理に活かす。

### 2. 後継者養成実技研修会＜対象：中級・上級技術者＞

文化財建造物装飾の基礎知識向上の為に、引き続き「座学研修」を行う。今回は、「日本建造物装飾技術史」「装飾史」等の講座を予定。幅広い知識を習得することで将来の後継者養成に繋げる。

### 3. 会員研修会

各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化へのさらなる広い視野をもった人材を養成する。

### 4. 固有技術向上研修会

「漆」、「丹塗・彩色」、「金具」各専門分野の技術研修会の実施

4-1) 昨年度（初年度）の三部会の研修成果に対する「合評会」実施  
研修内容の発表と、講師及び関連技術者からの講評

4-2) 三部会研修の取り組み内容

- ◇漆部会 漆クロメ研修（場所：日光予定）
- ◇丹塗・彩色部会 流見世棚造模型の意匠検討会～原図作成
- ◇金具部会 昨年度作成した丹塗・彩色研修原寸大模型の鋳金具製作（銅）

### ③ 動画編集【ダイジェスト版の作成】

（建造物装飾模型制作研修で撮影した実技研修におけるダイジェスト版の編集）

○報告書と会報「すいかずら」による研修事業の成果報告（年1～2回発行）

① 伝承者の育成

② 技術・技能の練磨

③ 記録作成

## 「共通座学研修会」

目的：当協議会技能者の教養講座として共通座学研修を設けました。今年は文化財修理技能者として必要な文化財保護の理念、日本建築史、文化財修理史の講義を講師の先生にお願いしました。次年度は装飾史などの講義を予定しています。3年で一巡する講座を計画しています。

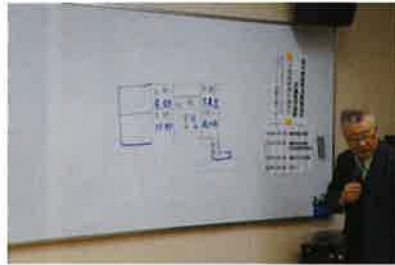
外部聴講生として伝統工芸大学校の学生の参加もありました。

場所：京都市文化財建造物保存技術研修センター（京都市東山区）

講座名	講師名	研修日程
・文化財保護の理念と創造的活用	江面嗣人先生（岡山理科大学工学部教授）	受講者 28名 平成27年7月8日
・日本建築史Ⅰ	同上	受講者 28名 7月8日
・日本建築史Ⅱ	同上	受講者 27名 9月1日
・日本建築史Ⅲ	同上	受講者 27名 9月1日
・文化財修理の歴史	後藤佐雅夫先生 （全国国宝重要文化財所有者連盟 常務理事・事務局長）	受講者 32名 11月24日
・共通座学総合テスト		受験者 32名 11月24日



江面先生講義



後藤先生講義



テストの様子

## 「漆塗装研修会 第Ⅰ期～第Ⅲ期」

期間：第Ⅰ期 平成27年7月9日～10日 13名  
 第Ⅱ期 平成27年10月14日～15日 11名  
 第Ⅲ期 平成27年12月2日～3日 12名

内容：箱定盤の漆塗装実技、座学。第Ⅱ期には仁和寺の修理現場見学、第Ⅲ期には建造物修理資材検討調査研修会と同時開催し、(株)堤浅吉漆店見学を行った

講師：岩本元（(株)小西美術工藝社）

研修生：木村広名（(株)片山）、村田侑宇（(株)小西美術工藝社）、吉木光太（(有)齋藤漆工芸）、高橋健造（(株)さわの道玄）、宮原義宗（(一財)塩尻・木曾地域地場産業振興センター）、木本美由貴、長岡薫（(有)島津漆工房）、上尾伸介、野添晃太郎、松尾拓也（(株)はせがわ美術工芸）、井上貴宏、太田晋介（(有)田漆芸(株)）



漆工技術は、「指物」（平面）・「曲げ物」（2次曲面）・「挽物」（3次曲面）への施工が基本であり、その根本原理は対象物の大小に関わりなく同じであるという考えから、それらを総合的に実践できる箱定盤の漆塗りを研修としました。岩本講師より、ご本人が今まで蓄積されてきた貴重な資料も配布していただき座学も充実した研修となりました。持ち帰り作業も多く研修生の個性の出る箱定盤が、完成しています。修理現場見学は京都府文化財保護課、仁和寺の御協力を得て現場作業の実際に触れさせていただきました。堤浅吉漆店見学も貴重な精製工程を見ることができ、又その後のデイスカッションも有意義なものとなりました。

## 「丹塗・彩色研修会 第Ⅰ期～第Ⅱ期」

期 間：第Ⅰ期 平成27年9月2日～4日 7名  
 第Ⅱ期 平成27年11月25日～27日 6名

内 容：丹塗：模型に単色塗りの実践  
 彩色：支輪板の彩色

第Ⅰ期は建造物裝飾修理用資材検討調査研修会と同時開催し、平等院羅漢堂見学及びナカガワ胡粉絵具(株)見学を行った

講 師：丹塗：片山龍馬（株）片山 彩色：中西友紀（宍川面美術研究所）

研 修 生：一条仁奈、東坂一（株）小西美術工藝社）、斉藤潮美（宍齋藤漆工芸）、高井みいる（株）さわの道玄）、正金夕佳（宍島津漆工房）、浅野由大（宍川面美術研究所）



丹塗・彩色の実践を行うために軒支輪部の原寸大模型を作成して研修を行いました。丹塗では、刷毛の使い方や刷毛の動かし方という基本動作から学び、垂木の下に潜り込んでの作業など実際の建造物と同様の身体の動かし方をしました。

彩色では、支輪板の痕跡資料調査から行い蓮華、宝相華文様の復元原図作成・転写、彩色を行いました。痕跡資料を細部まで観察し、復元原図を起こすにあたり、各人の考え方が反映され、個性のある復元図となりました。彩色に当たっては細かな筆の動かし方等の指導も行いました。

丹塗と彩色の双方を、講師や研修生と意見交換しながら学ぶ、有意義な研修となりました。

## 「金具研修会」

期 間：平成27年10月1日～3日 1名  
 その後、自社研修

内 容：丹塗・彩色研修で作成した模型の垂木に取り付ける銚金具を鋳造にて作成した。研修初日には金具図案の着想を得るため、平等院鳳凰堂の見学をした

講 師：技術指導：大谷哲秀（株）大谷相模掾鋳造所 図案指導：森本安之助（株）森本銚金具製作所

研 修 生：斉藤祐作（株）小西美術工藝社）



金具研修は、他の部会と違い、研修生が一人だったため、ほぼ講師とマンツーマンでの作業となりました。平等院鳳凰堂にて銚金具の観察、森本銚金具製作所にて展示品見学、原図見学を経てオリジナル図案の考案をしました。その後、大谷相模掾鋳造所にて型作り鋳造を研修、制作しました。

また、鋳物が出来た後の箔押し等の仕上げは研修生の工房にて仕上げました。

他社の工房での作業等、貴重な研修となりました。

## 「会員研修会」

目的：各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化へのさらなる広い視野をもった人材を養成する。

期間：平成27年10月17日～18日

場所：1日目 伊勢神宮外宮・せんぐう館

2日目 伊勢神宮内宮他

講師：宮本史典氏（神宮司廳造宮局 神宝装束部 神宮技師）

参加者：片山富夫（株片山）、荒木かおり（宍川面美術研究所）、宍戸康一、山本睦（株小西美術工藝社）、小野村勇人（有彩色設計）、斉藤敏彦、斉藤卯乃、斉藤潮美（有齋藤漆工芸）、長屋進（株さわの道玄）、武井祥司（一財）塩尻・木曾地域地場産業振興センター）、井上貫治、楽満康之（株はせがわ美術工芸）、邑田佳子（邑田漆芸株）、森本安之助（株森本銕金具製作所）



本年度の会員研修は伊勢神宮を訪れ、伊勢神宮の歴史や式年遷宮を経ながら文化財を受け継いでいく仕組みやその姿勢を学ぶ貴重な機会となりました。銕金具、漆部門で式年遷宮に関わっている会員会社による解説も行いました。

## 「資格制度」発足について

当協議会では、資格制度を発足させる運びとなりました。申請のあった技能者に審査のうえ認定書を発行します。

平成28年度5月よりスタート予定

資格制度の目的：技能者の地位向上。個人の技能に対する客観的評価の証明となる。

資格を得るためには、日常業務での自己研鑽、技術研修会参加、座学講習受講、筆記試験、実際の施工物件に対する第三者評価等を必要とする。

技能者の資格取得への能動的取り組みを期待し、上級技能者として、より高い文化財修理の達成につなげる。

技能者の教育の一部を協議会が担うことで会員会社の技能水準の統一的向上を期待する。

又、技能者リストを公表し、監督官庁及び監理者への技術力アピールにつなげる。

対象者：社寺建造物美術協議会 会員会社 正規雇用技能者（金具部門を除く）

# 「建造物装飾修理用資材検討調査研修会」

ナカガワ胡粉絵具株式会社 見学 (京都市)

期間：平成27年9月2日

13名

内容：工場見学、胡粉・絵具作りについての解説、

質疑応答

講師：中川晴雄氏

(ナカガワ胡粉絵具株式会社 社長)



本年度より、技術研修が三部会に分かれて行うことになったことに伴い、「建造物装飾修理用資材検討調査研修会」も、各部会のニーズに沿って行うこととなりました。彩色部会の研修では、現在日本で唯一胡粉を製造しておられる賛助会員のナカガワ胡粉絵具株式会社を訪れました。

胡粉製造の歴史と製造工程の説明、工場見学をさせていただきました。絵具作りの工夫など、貴重なお話を伺いました。研修生からも活発な質疑応答もあり、学びの多い時間を過ごしました。

株式会社堤浅吉漆店 見学 (京都市)

期間：平成27年12月3日

19名

内容：工場見学、漆掻き・漆精製工程の解説、質

疑応答

講師：堤孝氏 (株式会社堤浅吉漆店 社長)



漆部会では、賛助会員の株式会社堤浅吉漆店に伺い、漆精製の工程を見学させていただきました。

漆技術者でも、なかなか漆の精製の現場を見る機会は少ないため、参加者は熱心に工程の解説や機械や道具に見入っていました。技術者が使いやすい漆を提供するために様々な工夫をされていることが伝わってきました。

質疑応答の時間には、参加者からも、日頃の漆を扱う作業から生まれる質問が次々と飛び出し、充実した意見交換となりました。建造物に向いている漆や扱い方の注意点なども教えていただき、大変有意義な機会となりました。

## 今年のワークショップ

日本の技体験フェア (島根県出雲市)  
ふれてみよう！ 文化財を守り続けてきた匠の技

期間：平成27年9月12日・13日

場所：大社文化プレイスうらら館

内容：展示、壁飾り製作 (彩色)

担当：(有) 島津漆工房、(有) 川面美術研究所

文化庁主催「日本の技体験フェア」は、様々な技を持つ国内の選定保存技術団体が展示や実演、体験コーナーを通じてそれぞれの技術を広く一般の方に知っていただくというものです。

当協議会では、会の解説や各部門の説明を展示で紹介しました。また、昨年に引き続き、5団体 (NPO 法人日本伝統建築技術保存会・文化財豊保存会・(一財) 全国伝統建具技術保存会・全国文化財壁技術保存会・社寺建造物美術協議会) の回遊式体験を実施し、「壁飾りづくり」を体験していただきました。当協議会では、壁飾りの木部に彩色を施す「彩色体験」を担当しました。



# 社寺建造物美術協議会 名簿

平成28年3月

No.	企業名 (正会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
1	(一社) 天野山文化遺産研究所	山内 章	586-0086 大阪府河内長野市天野町997	0721-55-3772 0721-55-3776
2	(株)大谷相模掾鑄造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	537-0011 大阪市東成区東今里2-6-20	06-6971-6571 06-6971-6511
3	(株) 片 山	片山富夫	601-8303 京都市南区吉祥院向田東町10	075-322-1236 075-316-6333
4	(有)川面美術研究所	荒木かおり	616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2	075-464-0725 075-464-0099
5	岸野美術漆工業(株)	岸野 勲	321-1404 栃木県日光市御幸町587-2	0288-53-3366 0288-54-0072
6	(株)小西美術工藝社	デービッド・アトキンソン	108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3階	03-5765-1481 03-3455-9250
7	(有) 彩 色 設 計	小野村勇人	615-8072 京都市西京区桂木ノ下町25-8	075-201-4582 075-201-4582
8	(有) 齋 藤 漆 工 芸	齋藤敏彦	250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-381	0460-84-2802 0460-84-0770
9	(株) さ か い	酒井清裕	520-2331 滋賀県野洲市小篠原7-1	0775-87-1178 0775-87-5355
10	(株) さ わ の 道 玄	澤野道玄	604-8232 京都市中京区錦小路通油小路東入る空也町491	075-254-3885 075-254-3886
11	(一財)塩尻・木曾地域 地場産業振興センター	小口利幸	399-6302 長野県塩尻市木曾平沢2272-7	0264-34-3888 0264-34-2832
12	(有) 島 津 漆 工 房	島津達也	671-1602 兵庫県たつの市揖保川町野田263-1	082-208-2407 082-208-2407
13	(株)はせがわ美術工芸	井上貴治 (田鹿秀夫)	822-0011 福岡県直方市大字中泉今林885-26	0949-24-7211 0949-24-7221
14	(株)細川社寺巧藝社	細川夫美子	651-2242 兵庫県神戸市西区井吹台東町1-5-13-301	078-997-7178 078-997-7179
15	邑 田 漆 芸 (株)	邑田正廣	607-8355 京都市山科区西野大鳥井町118-45	075-591-4137 075-502-0638
16	(株)森本鋳金具製作所	森本安之助	600-8321 京都市下京区楊梅通西洞院東入る 八百屋町59	075-351-3772 075-361-8877
17	(有)横山金具工房	横山智明	601-8394 京都市南区吉祥院中河原北町14-3	075-325-4861 075-325-4862
No.	企業名 (賛助会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
1	(株)堤 淺 吉 漆 店	堤 孝	600-8098 京都市下京区間之町松原上ル稲荷町540	075-351-6279 075-351-6270
2	ナカガワ胡粉絵具(株)	中川晴雄	611-0013 京都府宇治市菟道池山24番地	0774-23-2266 0774-20-4666
3	NPO 法 人 丹 波 漆	岡本嘉明	629-1302 京都府福知山市夜久野町今西中710番地	080-5700-4363
4	NPO 法 人 麗 潤 館	矢崎孝子	319-3526 茨城県久慈郡大子町大子705	0295-76-8777 0295-76-8779



平成26年4月に植栽した漆

## 賛助会員紹介

(茨城)

NPO 麗潤館は、平成26年4月より、漆の植栽、漆掻き職人の支援、漆の情報発信基地として活動を始めました。本部は茨城県北部の犬子町に設置しております。茨城県の漆は透明度も高く、光沢がよく、その品質は全国的に高く評価されております。岩手県に次いで、日本第二位の産出量を誇り、全国有数の漆の産地といえます。しかし他の漆の産地同様、漆掻き職人の減少、高齢化、採取できる漆の木不足という問題を抱えております。NPO 麗潤館では、昨年、今年と合わせて1000本近くの漆の苗木を植栽いたしました。まだまだ新しく漆掻きの方を迎えられるほどの漆の本数には足りません。初春に行われます植栽、秋の漆掻き体験、また月に一度の拭き漆塗り体験教室などを通じて、色々な方々に、漆を身近に感じていただく活動をしております。11月13日に初めて行いました、「漆の日」のイベントには、思いがけずの大勢の方のご参加をいただき、皆様が想像以上に漆文化に対するご興味があることに感動致しました次第です。活動を通じて、日本の漆の存亡の危機を多くの方に、知っていただき、漆の植栽の必要性のご理解・ご協力をいただけますよう、今後も地道な活動を続けて参ります。

## 社寺建造物美術協議会

事務局 〒616-8242  
京都市右京区鳴滝本町69-2 (有)川面美術研究所内  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099  
http://shabikyoo.com/

## 編集後記

今年度から三部会毎の研修がスタートしました。「漆」、「丹塗・彩色」、「金具」の各部会では部会長を中心に今までの経験で培った技術と知恵を生かし、活動テーマを設定し、自主的に運営してきました。2年目をむかえる来年度も実りある研修となりますようサポートさせていただきますの(Y)で、よろしく願います。